

(本発表のお問い合わせ先)
美術館美術課
広報資料取扱主任：牧野裕二
電話：087-823-1711

【市長定例記者会見】

高松市美術館 特別展「石田尚志 絵と窓の間」を開催します！

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5

瀬戸内国際芸術祭2025参加展覧会

特別展 石田尚志 絵と窓の間 Ishida Takashi: Between Tableau and Window

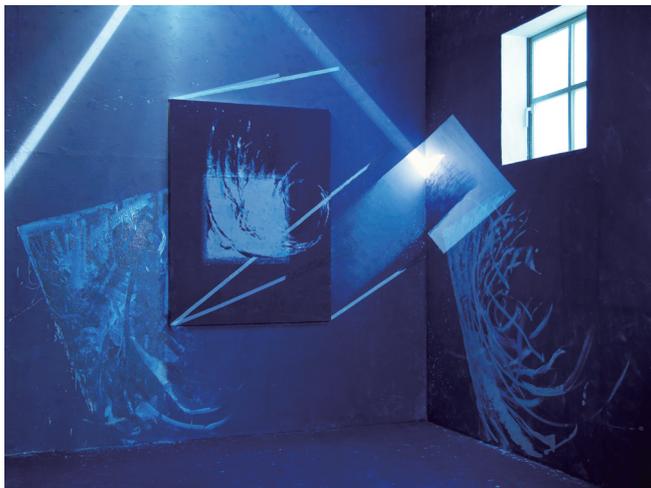
会期 2025(令和7)年8月8日(金)～10月5日(日)

会場 高松市美術館(香川県)

約10年ぶりの大規模個展。西日本初開催！

石田尚志(いしだ・たかし/1972年東京生まれ)は、自らが描いた絵画を連続的に撮影する手法(ドローイング・アニメーション)で制作した映像作品により、1990年代から国内外で評価されてきました。

時間芸術への窓ともいえる「映像」、その画面には、生成と変容を続ける絵画、場の光や闇がもたらす空間の質的な変化、そして画家の思考の軌跡が残されています。映像と空間あるいは立体造形とともに構成されるインスタレーションへの展開を経て、近年の石田は10代以来となるカンヴァスに絵筆を走らせ、空間と時間を“静止した平面”へ描き表すことに再び取り組んでいます。2015年以来の大規模な個展となる本展では、代表作と新作を中心に多数の初公開作品を含む約80点の作品を展観し、石田尚志の仕事を再考します。



石田尚志《絵と窓の間》2018年 ©Ishida Takashi

添付資料：プレスリリース詳細

A4 チラシ

プレスツアーの御案内

(参考資料)香川県立ミュージアム「小沢剛の讃岐七不思議」プレスリリース

リンク：https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/event/exhibitions/exhibition_2025/exhibition_2025/ex_20250808.html

□企画概要

- 展覧会名** 石田尚志 絵と窓の間
(英文タイトル) Ishida Takashi: Between Tableau and Window
- 主催** 高松市美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト実行委員会(事務局:公益財団法人 福武財団)
独立行政法人 日本芸術文化振興会 文化庁
- 協力** タカ・イシイギャラリー 多摩美術大学メディアセンター
- 助成** 公益財団法人 花王 芸術・科学財団
- 会期** 2025(令和7)年8月8日(金)～10月5日(日)
- 会場** 高松市美術館 2階展示室
- 休館日** 月曜日(8月11日(月・祝)、9月15日(月・祝))は開館、8月12日(火)、9月16日(火)は休館)
- 開館時間** 9:30～17:00 金・土は19:00まで開館
瀬戸内国際芸術祭2025夏会期(8月1日～8月31日)の金・土は20:00まで開館
※いずれも入室は閉館30分前まで
- 観覧料** 一般1,200円(960円)、大学生600円(480円)、高校生以下無料
※()内は前売、20名以上の団体料金
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて8月7日(木)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)



令和7年度日本博2.0事業(委託型)

「瀬戸内国際芸術祭2025」について

瀬戸内国際芸術祭(瀬戸芸)は、瀬戸内の島々を舞台に、3年に1度開催される現代アートの祭典です。2010年に初めて開催され、この度の瀬戸内国際芸術祭2025の開催で6回目を迎えます。107日間の会期は、春・夏・秋の3シーズンに分かれ、季節ごとに瀬戸内の魅力を体感できます。

高松市美術館の特別展「石田尚志 絵と窓の間」及び特別展「^{さんま}蒟醬 山下義人展」は、瀬戸内国際芸術祭2025の参加展覧会として開催されます。

□開催予定

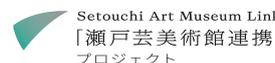
- ・春会期:2025年4月18日(金)～5月25日(日)
- ・夏会期:2025年8月1日(金)～8月31日(日)
- ・秋会期:2025年10月3日(金)～11月9日(日)



□瀬戸内国際芸術祭参加番号: tk14 ※瀬戸芸の鑑賞パスポートの提示により割引等サービスあり。

- ・特別展「石田尚志 絵と窓の間」[会期:2025年8月8日(金)～10月5日(日)]
- ・特別展「蒟醬 山下義人展」[会期:2025年10月11日(土)～11月24日(月・振休)]

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトについて



瀬戸内国際芸術祭2025の広域連携事業として、香川・岡山・兵庫3県の8つの美術館で、主に日本人の現代アーティストの展覧会を開催します。この事業は最先端の現代アートによるメッセージを発信し、ツアーを通して文化や食などの魅力にふれていただくことで、芸術祭とともに瀬戸内がアートの聖地として位置づくことを目指します。8館の「共通チケット」や周遊ツアーも販売します。

高松市美術館では、特別展「石田尚志 絵と窓の間」が本プロジェクトに参加します。



本プレスリリースについてのお問合せ先

高松市美術館 Tel: 087-823-1711、087-823-1730 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

展覧会担当: 高見翔子 shoko_11801@city.takamatsu.lg.jp

毛利直子 naoko_5570@city.takamatsu.lg.jp

広報担当: 福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

□ 出品作家紹介



撮影：白井晴幸

石田尚志 / Ishida Takashi

1972年東京都生まれ。10代より本格的な絵画制作、1992年頃より映像制作を始め、《部屋／形態》(1999年)で「イメージフォーラム・フェスティバル1999」特選受賞。愛知芸術文化センター委嘱作品《フーガの技法》(2001年)等が注目を集め、以後、国内外の映画祭や美術展に参加。2007年五島記念文化賞美術新人賞受賞。2025年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。多摩美術大学教授。

主な個展に、2015年「石田尚志 渦まく光」(横浜美術館、神奈川／沖縄県立博物館・美術館)、2019年「石田尚志 弧上の光」(青森公立大学国際芸術センター青森)、2022年「庭の外」(タカ・イシイギャラリー、東京)等。その他、2017年「シャルジャ・ビエンナーレ13」(アラブ首長国連邦)、2016年「あいちトリエンナーレ2016」(愛知)等に参加。

□ みどころ

1. 10代から最新作まで、石田尚志の「絵画」を再考

独学で油彩画を始め、映像制作や映像を含む空間インスタレーションの作品を経て、2010年代末から再びキャンバスに向かっている石田尚志。10代前半の油彩画、近年の展開を啓いた2019年の《弧上の光》、さらに最新作の油彩画を通じて、「画家」としての石田を再考します。また40メートルを超えるロール紙に描かれた、石田作品の特徴のひとつ「絵巻」の原点となる貴重な初期作《絵馬》(1990年)を本巡回展で初公開します。

2. 約10年ぶりの大規模個展。西日本初開催！

西日本における個展初開催となる本展は、石田尚志の2015年以来の大規模な個展でもあります。本展では、映像と立体を組み合わせた主要インスタレーションをはじめ、最新作の「絵画」に至るまで代表作と新作を中心に多数の初公開作品を含む約80点の作品を展覧します。また、本展の第一会場である神奈川県立近代美術館 葉山の展示室で会期中に公開制作された新作映像も紹介します。

3. 高松会場独自のサテライト企画を実施

神奈川県立近代美術館、アーツ前橋に続く本展の最終会場となる高松では、瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせてサテライト企画を行います。美術館外壁には石田尚志が直接ドローイングを描いた高さ約10メートルの懸垂幕を展示するほか、一部会期中の夜間には外壁への映像プロジェクションを実施します。またランチギャラリー(高松丸亀町商店街「しごとプラザ」ショーウィンドー)では懸垂幕にドローイングを描く様子を撮影したドキュメント映像を上映します。

□ 前売特典

8月7日(木)まで販売の前売券を購入された方にオリジナルグッズプレゼント！

※販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。

□ プレスツアー(8月8日(金)開催)

本プレスリリースについてのお問合せ先

高松市美術館 Tel: 087-823-1711、087-823-1730 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

展覧会担当：高見翔子 shoko_11801@city.takamatsu.lg.jp

毛利直子 naoko_5570@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

□サテライト企画

瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、本展のサテライト企画を行います。

■映像プロジェクション

日時：8月8日(金)～8月24日(日)の金～日曜日・祝日 19:00～21:00

内容：美術館外壁に映像プロジェクションが登場します。石田尚志がドローイングを描いた懸垂幕や美術館の建築に、石田がこれまでに制作した映像作品などを重ねて投影します。

■ランチギャラリー「特別展「石田尚志 絵と窓の間」プレ展示：REFLECTION」

会期：6月10日(火)～8月4日(月)

場所：ランチギャラリー(高松丸亀町商店街「しごとプラザ」ショーウィンドー)

内容：本展のプレ展示として、石田尚志《REFLECTION》(2009年、高松市美術館蔵)を上映します。

■ランチギャラリー「特別展示 石田尚志制作ドキュメント」

会期：8月8日(金)～10月5日(日)

場所：ランチギャラリー(高松丸亀町商店街「しごとプラザ」ショーウィンドー)

内容：高さ約10メートルの懸垂幕に石田尚志がドローイングを描く様子を撮影したドキュメント映像を上映します。原画となる懸垂幕は、展覧会会期中に高松市美術館の外壁に展示されます。

□関連イベント

アーティストトーク

8月9日(土) 14:00～15:00 (13:45開場)

登壇：石田尚志(本展出品作家)

会場＝1階講堂 定員＝100名(無料／申込不要 ※先着順)

記念パフォーマンス「O JUN / ISHIDA Takashi：『交戦／光線』」

8月24日(日) 17:30～19:00

出演：石田尚志(本展出品作家)、O JUN(画家)

会場＝1階エントランスホール(無料／申込不要) ※詳細は当館ホームページをご覧ください。

エントランス・ミニコンサート「石田尚志—創作を紡ぐ音—」

8月16日(土) I部13:00～13:30 II部13:45～14:30

演奏：香川大学ウィンド・アンサンブル

会場：1階エントランスホール(無料／申込不要)

ギャラリートーク

学芸員＝8月10日(日)、9月15日(月・祝)各日14:00～

ボランティアcivi＝会期中の日曜日(ただし8月10日、8月24日除く)各日14:00～

会場＝いずれも2階展示室 料金＝要観覧券(申込不要)

美術館の日

8月23日(土) 9:30～20:00

当館のお誕生日をお祝いし、どなたも観覧無料となります。

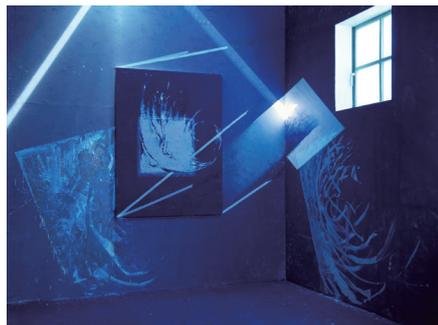
ふらっとアート「色と形と時間を重ねよう」

会期中いつでも

会場＝中2階子ども+(無料／申込不要)

透明な袋にカラーセロファンを入れて重なりを楽しめます。

□**広報用画像**（広報画像をご希望の方は広報担当に番号をお知らせください）



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

画像キャプション

- ①石田尚志《絵と窓の間》2018年 ©Ishida Takashi
- ②神奈川県立近代美術館 葉山での新作制作風景 2024年
- ③石田尚志《夜の海》2024年 ©Ishida Takashi
- ④石田尚志《REFLECTION》2009年 ©Ishida Takashi
- ⑤石田尚志《浜の絵》2011年 ©Ishida Takashi
- ⑥石田尚志《渦巻く光》2015年 ©Ishida Takashi
- ⑦石田尚志《弧上の光》2019年 ©Ishida Takashi
- ⑧石田尚志《庭の外》2022年 ©Ishida Takashi
- ⑨石田尚志《正方形の窓》2015年 ©Ishida Takashi

本プレスリリースについてのお問合せ先

高松市美術館 Tel: 087-823-1711、087-823-1730 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4

展覧会担当：高見翔子 shoko_11801@city.takamatsu.lg.jp

毛利直子 naoko_5570@city.takamatsu.lg.jp

広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

Ishida Takashi:

SETOUCHI
TRIENNALE
2025

[Hours] 9:30-17:00 (Admission until 16:30) Fridays and Saturdays: 9:30-19:00 (Admission until 18:30) *Fridays and Saturdays (August 1 to August 31): 9:30-20:00 (Admission until 19:30)
[Closed] Mondays (except August 11 and September 15), August 12 and September 16, 2025 [Admission] General Admission: 1,200 yen, University Students: 600 yen, High school students and under: Free [Organizer] Takamatsu Art Museum, The Yomiuri Shimbun, The Japan Association of Art Museums, Setouchi Art Museum Link Executive Committee (Office: Fukutake Foundation), Japan Arts Council, Agency for Cultural Affairs, Government of Japan [Cooperation] Taka Ishii Gallery, Tama Art University Media Center [Grant] The Kao Foundation for Arts and Sciences

瀬戸内国際芸術祭2025参加展覧会

Between Tableau and Window

石田尚志

絵と窓の間

2025 8.8 fri. 10.5 sun.

1. 『窓の海』 2024年
2. 『REFLECTION』 2009年
3. 『表裏・形類』 1999年
4. 『絵と窓の間』 2018年
5. 『闇不詳』 1992年
6. 『反力形の鏡』 2015年
7. 『窓の海』 『窓の海』 『窓の海』 2019-20年
8. 『窓の海』 『窓の海』 『窓の海』 1992年
9. 『窓の海』 『窓の海』 『窓の海』 2024年

All images © Ishida Takashi

TAKAMATSU ART MUSEUM

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

Setouchi Art Museum Link
「瀬戸芸美術館連携」
プロジェクト

白本博 JAPAN CULTURAL EXPO 20
令和7年度日本博2.0事業(委託展)

休館日=月曜日(ただし、8月11日(月・祝)、9月15日(月・祝))は開館、8月12日(火)、9月16日(火)は休館 開館時間=9:30-17:00(入室は開館の30分前)、金・土は19:00まで開館(瀬戸内国際芸術祭2025夏会期(8月1日-8月31日)の金・土は20:00まで開館) 観覧料=一般1,200円(960円)、大学生600円(480円)、高校生以下無料 * ()内は前売、20名以上の団体料金 * 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 * 前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて8月7日(木)まで販売(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください) 主催=高松市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト実行委員会(事務局:公益財団法人 福武財団)、独立行政法人 日本芸術文化振興会、文化庁 協力=タカ・イシイギャラリー、多摩美術大学メディアセンター 助成=公益財団法人 花王 芸術・科学財団



Ishida Takashi: Between Tableau and Window

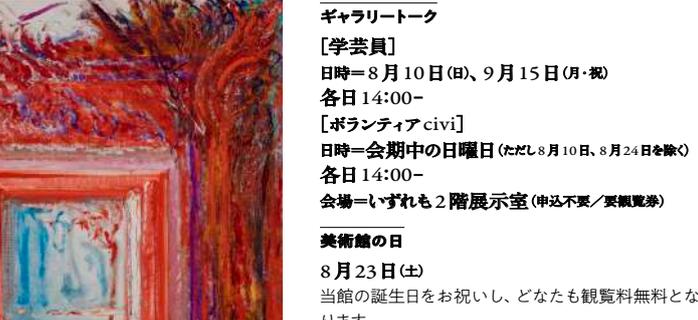


石田尚志 いしだ・たかし
1972年東京都生まれ。10代より本格的な絵画制作、1992年頃より映像制作を始め、《部屋／形態》(1999年)で「イメーゼン・フォーラム」フェスティバル1999「時選受賞。愛知芸術文化センター委嘱作品『クーガの技法』(2001年)等が注目を集め、以後、国内外の映画祭や美術展に参加。2007年五島記念文化賞美術新人賞受賞。2025年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。多摩美術大学教授。



石田尚志(1972年東京生まれは、自らが描いた絵画を連続的に撮影する手法(ドローイング・ミニーション)で制作した映像作品により、1990年代から国内外で評価されてきました。
時間芸術への窓ともいえる「映像」、その画面には、生成と変容を続ける絵画、場の光や闇がもたらす空間の質的な変化、そして画家の思考の軌跡が残されています。映像と空間あるいは立体造形とともに構成されるインスタレーションへの展開を経て、近年の石田は10代以来となるカンヴァスに絵筆を走らせ、空間と時間を、静止した平面へ描き表すことに再び取り組みんでいます。2015年以来的大規模な個展となる本展では、代表作と新作を中心に多数の初公開作品を含む約80点の作品を展覧し、石田尚志の仕事を再考します。

1. 《絵上巻の巻》2018年 | 2. 《巻のめ》2022年 | 3. 《巻-2》2022年 | カンヴァスに描き表すこと | 4. 《風上の羽》2019年 | 5. 神奈川県立近代美術館 葉山 | 75. 回芸術選奨文部科学大臣賞受賞
Images: © Ishida Takashi



〒760-0027 香川県高松市紺屋町 10-4 | tel 087-823-1711
www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/



アクセス
 ・JR: 高松駅下車、徒歩約15分
 ・ことでん: 瓦町駅または片原町駅下車、徒歩約10分
 ・路線バス: 紺屋町または丸亀町参番街下車、徒歩約3分
 ・高速バス: 県庁通り下車、徒歩約8分
 ・空港リムジンバス: 兵庫町下車、徒歩約4分
 ・駐車場: 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)
 *駐車場の混雑状況については「どこ駐車ナビ高松」で確認いただけます。



サテライト企画
 瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、本展のサテライト企画を実施します。

映像プロジェクション
 日時=8月8日(金)→8月24日(日)の金～日曜日・祝日 19:00-21:00
 美術館外壁に映像プロジェクションが登場します。石田尚志がドローイングを描いた懸垂幕や美術館の建築に、石田がこれまでに制作した映像作品などを重ねて投影します。

プラテギャラリー
 (高松丸亀町商店街「しごとプラザ」ショーウィンドー)
「特別展「石田尚志 絵と窓の間」
プレ展示: REFLECTION
 会期=6月10日(火)→8月4日(月)
 本展のプレ展示として、石田尚志《REFLECTION》(2009年、高松市美術館蔵)を上映します。

プラテギャラリー
「特別展示 石田尚志制作ドキュメント」
 会期=8月8日(金)→10月5日(日)
 高さ約10メートルの懸垂幕に石田尚志がドローイングを描く様子を撮影したドキュメント映像を上映します。原画となる懸垂幕は、展覧会会期中に高松市美術館の外壁に展示されます。

関連イベント
アーティストトーク
 日時=8月9日(土)14:00-15:00(13:45開場)
 登壇=石田尚志(本展出品作家)
 会場=1階講堂
 定員=100名(無料/申込不要 ※先着順)

記念パフォーマンス
「O JUN / ISHIDA Takashi: 『交戦 / 光線』
 日時=8月24日(日)17:30-19:00
 出演=石田尚志(本展出品作家)、O JUN(画家)
 会場=1階エントランスホール(無料、申込不要)
 詳細は当館ホームページをご覧ください。

エントランス・ミニコンサート
「石田尚志—創作を紡ぐ音—
 日時=8月16日(土)
 I部 13:00-13:30 II部 13:45-14:30
 演奏=香川大学ウィンド・アンサンブル
 会場=1階エントランスホール(無料/申込不要)

ギャラリートーク
「学芸員」
 日時=8月10日(日)、9月15日(月・祝)
 各日 14:00-
「ボランティアcivi」
 日時=会期中の日曜日(ただし8月10日、8月24日を除く)
 各日 14:00-
 会場=いずれも2階展示室(申込不要/要観覧券)

美術館の日
 8月23日(土)
 当館の誕生日をお祝いし、どなたも観覧料無料となります。

ふらっとアート
「色と形と時間を重ねよう」
 会期中いつでも
 会場=中2階「こども+ (プラス)」(参加無料、申込不要)
 透明な袋にカラーセロファンを入れて重なりを楽しみます。

前売特典
 8月7日(木)まで販売の前売券を購入の方に前売特典をプレゼント!

その他
夏休みワークショップ
 ①「漆の研ぎ出しキーホルダーをつくろう」
 日時=7月20日(日)
 [午前] 10:30-11:30 [午後] 13:30-14:30
 講師=竹森楓(漆芸作家)
 ②「立体まんがをつくろう」
 日時=8月3日(日)
 [午前] 10:00-12:00 [午後] 14:00-16:00
 講師=矢野恵利子(美術家)
 ①②共通=小学生対象、要受講料、要申込み、詳細は当館ホームページをご覧ください。



報道関係各位

2025年夏 2つの展覧会

「石田尚志 絵と窓の間」と「小沢剛の讃岐七不思議」

プレスツアーの御案内

謹啓 平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、報道関係の皆様を対象に、「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトに参加する展覧会のうち、2025年夏に高松市内で開催される2つの展覧会をめぐるプレスツアーを実施する運びとなりましたので、御案内申し上げます。

高松市美術館「石田尚志 絵と窓の間」（8月8日～10月5日）では、美術家・石田尚志の2015年以降の近作・最新作を中心にレトロスペクティブ上映やパフォーマンスなども交えて、石田の仕事を概観し将来を展望するものとなります。

香川県立ミュージアム「小沢剛の讃岐七不思議」（8月9日～10月13日）は、同館が収蔵する香川の歴史・美術・民俗に関する膨大な資料・作品や情報などから小沢独自の視点でモノ・コトに着目し、それらから触発され生み出した新作と収蔵品を組み合わせた展示となります。

本プレスツアーは、これら2つの展覧会を半日で取材いただけるまたとない機会です。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

謹白

高松市美術館

2025年夏 2つの展覧会

「石田尚志 絵と窓の間」と「小沢剛の讃岐七不思議」

プレスツアー 概要

1 ツアー実施日 2025年8月8日(金)

2 ツアー募集人数 報道関係者 30名程度

3 内容

- ・9:30～ 受付(高松市美術館エントランスホール)
- ・10:00～11:00 高松市美術館 特別展「石田尚志 絵と窓の間」
- ・11:00～11:30 移動(チャーターバス)
- ・11:30～12:30 香川県立ミュージアム 特別展「小沢剛の讃岐七不思議」

高松市美術館から香川県立ミュージアムに会場移動する際にはチャーターバスで御案内します。
いずれの会場も作家に御臨席いただきますので、御本人への取材が可能です。
御参加される方には、展覧会図録等の資料をお渡しいたします。

4 参加費 無料

*高松までの往復旅費、宿泊費、食事などは各自御負担ください。

5 応募方法

- ・別紙【参加申込書】を、7月18日(金)までに高松市美術館 毛利・高見までファックス(087-851-7250)又はメール(bijyutsu@city.takamatsu.lg.jp)にて送付、又は申込フォーム(下記QRコードもしくはURL)にてお申込ください。
受付確認をファックス又はメールでお知らせし、受付確認の連絡をもって受付の確定といたします。
- ※バスを利用せず、会場でのプレスビュー、取材のみの御参加も承ります。同じく【参加申込書】等にてお申込みください。高松市美術館・香川県立ミュージアム間の移動時間は徒歩約15分程度です。

【申込フォーム】

<https://logoform.jp/form/dV7M/1052827>



- ・バスを御利用いただける人数に限りがあるため、先着順に受付、定員になり次第締め切らせていただきます。

6 プレスツアーのお問合せ

高松市美術館 担当：毛利直子、高見翔子

電話：087-823-1730 ファックス：087-851-7250

アドレス：bijyutsu@city.takamatsu.lg.jp

香川県立ミュージアム

令和7年度夏の特別展のお知らせ

現代アートと収蔵品のコラボレーション

小沢剛の大規模個展、四国初開催！

令和7年6月16日（月曜日）

香川県立ミュージアム

担当 学芸課 黛（まゆづみ）、

御厨（みくりや）

TEL 087-822-0247

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト・瀬戸内国際芸術祭 2025 参加

特別展 「小沢剛の讃岐七不思議」

小沢剛は、純粹芸術とそれ以外のものの境界に関心を寄せ、歴史や社会にユーモアと批評精神を交えて様々な問いをなげかける作品で国内外で広く評価されています。本展では、香川県立ミュージアムが収蔵する香川の歴史・美術・民俗に関する膨大な資料や情報などから独自の視点でモノ・コトに着目し、それらから触発され生み出した作品や実物の資料を組み合わせた展示を構想しています。

子どもと大人、過去と現在など異なる視点が交差する作品世界は、モノ作りの技術や収蔵・陳列について、あるいは世界の見方や自然科学、死生観などについての考察と讃岐の歴史文化との新たな出会いを誘発します。

会 期 令和7年8月9日（土）～10月13日（月・祝）全57日間

◇開館時間 9:00～17:00 入館は閉館の30分前まで

夜間開館 20:00まで 8月9日（土）、10日（日）、11日（月・祝）、16日（土）、23日（土）、30日（土）、10月4日（土）、11日（土）、12日（日）、13日（月・祝）

◇休 館 日 月曜日（8月11日、9月15日、10月13日は開館）、8月12日（火）、9月16日（火）

会 場 香川県立ミュージアム 特別展示室

〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号 087-822-0002(代表)

観 覧 料 一般：1,200円 / 前売・団体（20名以上）：1,000円

※瀬戸内国際芸術祭パスポートで団体料金（8月9日～31日、10月3日～13日）

※高校生以下、県内在住の65歳以上の方、障害者手帳・特定医療費（指定難病）受給者証・小児慢性特定疾病医療費受給者証等の提示者とその介護者は無料

※ [前売] 香川県立ミュージアム、セブン・イレブン各店で発売中（～8月8日まで）

主 催 香川県立ミュージアム、「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト実行委員会（事務局：公益財団法人福武財団）、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

共 催 香川県教育委員会、四国新聞社

（ 予 定 ）

協 力 MISA SHIN GALLERY、一般社団法人パペットナビゲート、公益財団法人松平公益会

社会福祉法人松福福祉会 松福保育園 城東保育園、東かがわ市とらまるパペットランド

助 成 公益財団法人花王芸術・科学財団

後 援 朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、日本経済新聞社高松支局、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、OHK 岡山放送、RSK 山陽放送、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、FM 香川、FM815

ゲスト・キュレーター 三木あき子（直島新美術館 館長）

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

SETOUCHI
TRIENNALE
2025

Setouchi Art Museum Link
「瀬戸芸美術館連携」
プロジェクト

日本文化
JAPAN
CULTURAL
EXPO 2025

令和7年度日本博20事業（協賛型）

出品作家プロフィール



小沢 剛 (おざわ つよし)

美術家 1965 年生まれ 千葉県在住

東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める「地蔵建立」を開始。1993 年より牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー「なすび画廊」や「相談芸術」、99 年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした「醤油画資料館」や、2001 年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ「ベジタブル・ウェポン」、13 年より歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。香川県坂出市の鎌田ミュージアムにて「讃岐醤油画資料館」が恒久設置される。

■「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

2025 年 4 月 18 日から開催されている瀬戸内国際芸術祭（瀬戸芸） 2025 の広域連携事業として、瀬戸芸の会期中を中心に、香川・岡山・兵庫 3 県の 8 つの美術館で、日本人の現代アーティストによる作品を中心とした展覧会を行います。これにより、瀬戸内からアートのメッセージを発信し、瀬戸内がアートの聖地として位置づいていくことを目指します。

2025 年夏 2つの展覧会 「石田尚志 絵と窓の間」と「小沢剛の讃岐七不思議」

プレスツアーの御案内

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト参加館である 高松市美術館 と共同でプレスツアーを実施します。各館において、出品作家による解説もあります。

日 時 令和 7 年 8 月 8 日 (金)

10:00~11:00 高松市美術館 特別展「石田尚志 絵と窓の間」

11:30~12:30 香川県立ミュージアム 特別展「小沢剛の讃岐七不思議」

※詳細は別途、発表いたします。

展覧会のみどころ

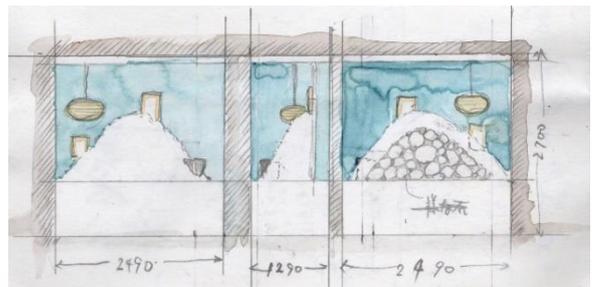
①讃岐との関係性の深い小沢剛による、新たな「七不思議」の展開

小沢剛は場所の歴史文化や人々との関係性をもとにした作品制作で知られ、坂出には「讃岐醤油画資料館」が、また直島のヴァレーギャラリーには「スラグブツダ88」が常設展示されるなど、讃岐（香川県）において多くの作品を生み出しています。その小沢が今回再びこの地域で取り組むのは、「七不思議」というテーマです。2008年に金沢で始め、実に17年ぶりとなる本テーマは「怪しさ」や「ありえなさ」というよりも、独自の視点で「見るべき、あるいは知っておくべきモノ・コト」に着目するもので、小沢剛の最新形を通して、作家の創作のもとにある純粋芸術とそれ以外のものの境界や時代を超えて引き継がれてきたものへの関心に触れる貴重な機会となります。

②香川県ミュージアムの収蔵品への異なる視点と地域の魅力の再発見

本展は、歴史博物館と美術館の機能をあわせもつ香川県ミュージアムの収蔵する歴史・美術・民俗などに関する膨大な資料、情報をもとに構想され、収蔵品とそれらから触発され生み出された作品を組み合わせ、枠組みやヒエラルキーを超えて過去と現代が出会う意欲的な展示です。

香川県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」のうち「^{しゅうりんず}衆鱗図」全4帖や、「^{いっかくいんろう}一角印籠」といった近年注目されている収蔵品から、本展で初展示となる「^{じきしこうごりゅうぎひじなわひながた}直指公御流儀秘事縄雛形」（縛り人形）という、捕縛術の伝授に用いられた人形まで、ミュージアムの多様な収蔵品を異なる視点からとらえるとともに、地域の魅力の再発見を促します。



小沢剛による展示構想ドローイング



香川県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」のうち「衆鱗図」



一角印籠 重要美術品



直指公御流儀秘事縄雛形

③人々とのコラボレーションで生み出された多様な作品群

さまざまな収蔵品などから触発され、「モノ作りの技術」「自然科学観察」「世界の見方」「死生観」「風景」といった方向性のもとに創作された小沢剛の作品群は、インスタレーション、写真、オブジェ、映像、焼き物、絵画といった多様なメディアで構成され、すべて新作になります。一部は城東保育園（高松市）の子どもたちや、とらまるパペットランド（東かがわ市）など地域の人々とのコラボレーションで制作されました。



源内焼 アメリカ図皿



衆鱗図ワークショップの様子(城東保育園)



とらまるパペットランドでの映像撮影

④なすび画廊番外編

「なすび画廊」は、1993年に小沢が始めた牛乳箱を展示空間にみたてた世界最小の移動式画廊プロジェクトです。日本独自の貸し画廊システム批判から始まった本プロジェクトはその後、世界各地のアーティストとのコラボレーションへと変化していきました。本展では、特別プロジェクトとして、約10軒の「なすび画廊」に香川県ミュージアムの収蔵品の数々が展示され、香川県の歴史を伝える歴史展示室などに設置されます。ポータブルな機能性から路上や店先で展示されてきた「なすび画廊」が、タイムトリップをするかのごとく時を超えて過去の様々な「作り手」たちの「創造物」を紹介します。

関連行事 ※トークイベントの内容、登壇者等は変更になることがあります。

1 オープニングトーク「小沢剛の讃岐七不思議を語る」 無料・要事前申込

オープニングに際して、アーティストやゲスト・キュレーターらが、本展コンセプトや作品等について語ります。

日 時 | 8月9日(土) 13:30~15:00

登 壇 | 小沢剛、三木あき子ほか

会 場 | 地下1階講堂

定 員 | 230名

申込期間 | 7月9日(水) ~ 定員になり次第終了

★申込方法 電話または香川県電子申請・届出システムから

2 秋分スペシャルトーク「讃岐の七不思議を求めて」 無料・要事前申込

香川県立ミュージアムが収蔵する香川の歴史・美術・民俗に関する膨大な資料や情報を探ることから始まった本展。その準備に関わった専門家や学芸員とともに、改めて「讃岐の七不思議」や地域の魅力等について語り合います。

日 時 | 9月20日(土) 13:30~15:00

登 壇 | 小沢剛、三木あき子、田井静明(瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員)ほか

会 場 | 地下1階講堂

定 員 | 230名

申込期間 | 8月20日(水) ~ 定員になり次第終了

★申込方法 電話または香川県電子申請・届出システムから

3 クロージングトーク「出会い・協働から見えるもの」 無料・要事前申込

本展は、現代アートと時代やジャンルの異なる様々な収蔵品の出会いだけでなく、多くの人々との協働による作品制作が特徴的です。制作に参加した協力者たちが会し、作品のメイキングや協働の可能性等について議論します。

日 時 | 10月12日(日) 13:30~15:30

登 壇 | 小沢剛、三木あき子、協力者、当館職員ほか

会 場 | 地下1階講堂

定 員 | 230名

申込期間 | 9月12日(金) ~ 定員になり次第終了

★申込方法 電話または香川県電子申請・届出システムから

4 プレミアムナイトツアー「小沢剛とめぐる讃岐七不思議」 有料・要事前申込

閉館後に人数限定で、アーティストとめぐる超プレミアムなツアー。カフェで特別メニューを楽しんでから特別展会場へ。小沢剛がさらなる不思議の世界へご案内します。

日 時 | 8月22日(金)、9月19日(金) 各18:00~20:00(受付は17:30~)

定 員 | 各回20名(先着順)

申込期間 | 7月22日(火) ~ 定員になり次第終了

★申込方法 旅行情報サイト「じゃらんnet」から

5 子ども向けワークショップ「小沢さんと7つのフシギにチャレンジ！」 有料・要事前申込

アーティストと一緒に特別展をめぐりながら、作品づくりに取り組むワークショップです。

日 時 | 8月23日(土) 13:30~15:00

対 象 | 小学生 ※小学3年生以下は保護者同伴(1名)が必要

定 員 | 15名(申込多数の場合は抽選)

会 場 | 特別展示室ほか

参 加 料 | 500円(保険料・材料費として)

申込期間 | 7月5日(土)~7月26日(土) 当日必着

★申込方法 往復はがき(1枚につき2名まで)または香川県電子申請・届出システムから

6 ギャラリーツアー 要観覧券・申込不要

ゲスト・キュレーターである三木あき子による作品解説。

日 時 | ①8月9日(土) ②9月20日(土) 各回11:00~(30分程度) ※会場入口集合

※その他の関連行事の詳細は決まり次第、当館ウェブサイトに掲載します。

夏の涼みに、秋の夜長に、ミュージアムへ

無料シャトルバス “七不思議行き” 運行します！

瀬戸内国際芸術祭会期中に以下の日程で、高松港と香川県立ミュージアムの間で無料シャトルバスを運行します。

「小沢剛の讃岐七不思議」にふらっと立ち寄りやすくなります！

運行日 | 8月9日(土)、10日(日)、11日(月)、16日(土)、30日(土)

10月4日(土)、11日(土)、12日(日)、13日(月)

時 間 | 高松港→香川県立ミュージアム ①16:00 ②16:30 ③17:00 ④17:30 ⑤18:00 ⑥18:30 ⑦19:00

香川県立ミュージアム→高松港 ①16:15 ②16:45 ③17:15 ④17:45 ⑤18:15 ⑥18:45 ⑦19:45

お問い合わせ

香川県立ミュージアム 学芸課

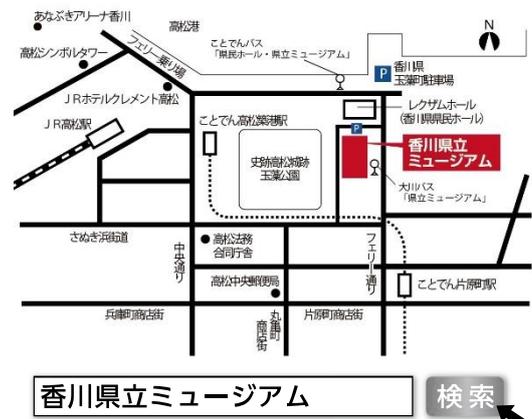
〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

Tel.087-822-0247 Fax.087-822-0049

E-mail: kmuseum@pref.kagawa.lg.jp

Web: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>

X(旧ツイッター)・フェイスブック・Instagramでも情報発信中



(本発表のお問い合わせ先)

危機管理課

広報資料取扱主任: 岡田 和弘

電話 839-2184

【市長定例記者会見】高松市合併20周年記念 令和7年度高松市総合防災訓練を実施します！

高松市地域防災計画に基づき、災害に強い地域づくりを進めるため、防災関係機関及び関係団体が一体となって災害に係る応急対策等の総合防災訓練を実施することにより、総合的な防災体制の充実強化とともに市民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施します。

なお、本市が、令和7年度に近隣6町(塩江町・牟礼町・庵治町・香川町・香南町・国分寺町)との合併から20周年を迎えること及び本訓練が、本市の更なる発展とシビック・プライドの醸成に資する事業であることから、高松市合併20周年記念事業として取り扱います。

1 実施日時 令和7年6月29日(日)午前9時から正午まで

2 開催場所 香川県消防学校(高松市生島町)

3 訓練内容

・第Ⅰ部 地震対策訓練

高松市に震度6強の地震が発生し、ライフラインが寸断、高層ビルが座屈したとの想定で、関係機関等が応急対応を実施します。

・第Ⅱ部 風水害対策訓練

大型で強い台風の接近により、倒木及び河川堤防の決壊が発生したとの想定で、関係機関等が応急対応を実施します。

4 主 唱 高松市防災会議

5 その他

・中止の決定は、6月29日(日)午前6時現在で行います。また、訓練前日の時点で、悪天候が予想される場合は、訓練を中止することがあります。なお、中止となる場合は、高松市公式ホームページに掲載します。

・天候等の事情により、訓練内容を変更する場合があります。

・訓練種目のうち、座屈ビル救出搬送訓練については、高層訓練棟2階及び7階の指定するエリアから撮影が可能です。高層訓練棟内から撮影を希望される場合は、訓練当日、9時30分に放送席テントに集合してください。

■添付資料:

・実施要領

高松市合併20周年記念
令和7年度高松市総合防災訓練
実施要領

日 時 令和7年6月29日（日）
午前9時00分～正午

場 所 香川県消防学校（高松市生島町）

高松市防災会議

目 次

第 1	実施概要	1
第 2	実施順序及び内容	4
第 3	訓練会場案内図	6
第 4	実施位置図	7
第 5	訓練車両待機場所図	8
第 6	配席図	9

第 1 実施概要

1 目的

高松市地域防災計画に基づき、災害に強い地域づくりを進めるため、防災関係機関及び関係団体が一体となって、災害に係る応急対策等の総合防災訓練を実施することにより、総合的な防災体制の充実強化とともに、市民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2 日時 令和7年6月29日（日） 午前9時00分～正午

3 場所 高松市生島町 香川県消防学校

4 主 唱 高松市防災会議

5 訓練参加機関・団体

高松市消防団、高松市女性防火クラブ連絡協議会、高松市自主防災組織連絡協議会、高松市消防支援隊、四国電力送配電株式会社高松支社、西日本電信電話株式会社香川支店、株式会社NTTドコモ四国支社グループ、四国ガス株式会社高松支店、高松市建設業協会、陸上自衛隊第15即応機動連隊、高松海上保安部、高松地方气象台、香川県防災航空隊、香川県ドクターヘリ、香川大学医学部附属病院、日本赤十字社香川県支部、高松市赤十字奉仕団、香川県広域水道企業団高松ブロック統括センター、JA R L香川クラブ、四電エンジニアリング株式会社アクアクララ事業部、西村ジョイ株式会社、DCM株式会社、香川エルピーガスクリーン協同組合、イオンリテール株式会社イオン高松店、アジア航測株式会社四国支店、株式会社四航コンサルタント、一般財団法人香川県キッチンカー協会、公益社団法人香川県聴覚障害者協会、香川県中途失聴・難聴者協会、香川県手話通訳問題研究会、特定非営利活動法人香川県要約筆記サークルゆうあい、損害保険ジャパン株式会社、さぬき動物愛護センターしっぽの森、高松市消防団機能別分団、高松市消防局、高松市

6 訓練想定

第 I 部 地震対策訓練

高松市で震度6強を観測する大規模地震により、火災並びに電気、ガス、水道及び通信回線等の被害が発生した。また、家屋の倒壊や高層ビルが座屈し、火災が発生した。

第Ⅱ部 風水害対策訓練

大型で強い台風が、高知県に上陸した後、強い勢力のまま北東に進む見込みで、高松地方気象台から、県下全域に暴風・波浪・大雨・洪水警報が発表されている。また、香東川氾濫発生情報も発表されており、既に成合橋北300メートル付近では堤防が決壊し住宅が浸水、孤立している。

7 終了式及び隊形

訓練終了後、本部席テント前で終了式を行う。

(1) 終了式

ア 開 式

イ 挨 拶

市長

市議会議長

ウ 閉 式

(2) 隊 形

本 部 席 テ ン ト

指 揮 台

高松市	さぬき動物愛護センターしっぽの森	損害保険ジャパン株式会社	イクルゆうあい	香川県手話通訳問題研究会・特定非営利活動法人香川県要約筆記サークル	公益社団法人香川県聴覚障害者協会・香川県中途失聴・難聴者協会	一般財団法人香川県キッチンカー協会	アジア航測株式会社四国支店・株式会社四航コンサルタント	イオンリテール株式会社イオン高松店	香川エルピーガスクリン協同組合	DCM株式会社	西村ジョイ株式会社	四電エンジニアリング株式会社アクアラ事業部	JARL香川クラブ	香川県広域水道企業団高松ブロック統括センター	日本赤十字社香川県支部・高松市赤十字奉仕団	高松地方気象台	高松海上保安部	陸上自衛隊第15即応機動連隊	高松市建設業協会	四国ガス株式会社高松支店	株式会社NTTドコモ四国支社グループ	西日本電信電話株式会社香川支店	四国電力送配電株式会社高松支社	高松市消防支援隊	高松市女性防火クラブ連絡協議会	高松市消防協議会	高松市消防団機能別分団	高松市消防局・香川県防災航空隊	高松市自主防災組織連絡協議会	高松市消防支援隊	○総指揮者
-----	------------------	--------------	---------	-----------------------------------	--------------------------------	-------------------	-----------------------------	-------------------	-----------------	---------	-----------	-----------------------	-----------	------------------------	-----------------------	---------	---------	----------------	----------	--------------	--------------------	-----------------	-----------------	----------	-----------------	----------	-------------	-----------------	----------------	----------	-------

8 注意事項

大雨警報等の発表及び大規模災害の発生又はその発生のおそれがある場合は中止とし、予備日を設けない。

訓練中止の判断は、6月29日（日）午前6時時点で行う。なお、訓練前日の時点で、明らかに悪天候が予想される場合は、訓練を中止とする場合がある。

訓練会場内は全面禁煙とする。

問い合わせ先：高松市総務局危機管理課 電話：087（839）2184

第2 実施順序及び内容

第I部 地震対策訓練

訓練 番号	時 間	訓 練		実 施 機 関
		種 目	状況及び実施内容	
1	9:00~9:10	本部放送開始	訓練想定の説明 参加団体、実施機関の紹介	危機管理課
2		本部放送	地震対策訓練実施に至るまでの想定状況を放送する。	
3	9:11~9:24	避難所開設訓練 初期消火訓練	災害対策本部からの指示で避難所を開設する。また、避難所周辺での小規模火災を消火器で消火する。	高松市自主防災組織連絡協議会 高松市女性防火クラブ連絡協議会 高松市消防支援隊 高松市消防団機能別分団
4		災害対策本部会議	本部会議を開催し、状況を把握する。	高松市
5		地震被害状況の情報伝達訓練	津波警報に伴う海上及び港湾部の作業状況、高松港の被害状況を報告する。	高松海上保安部
6		避難所周辺状況報告	避難所周辺における状況を報告する。	J A R L 香川クラブ
7		避難所受付訓練 指定避難所福祉エリア開設訓練 キッチンバスの展開	一定の配慮がなされた避難所の受付及び福祉エリアの開設を行う。避難所でキッチンバスを展開する。	一般財団法人香川県キッチンカー協会 公益社団法人香川県聴覚障害者協会 香川県中途失聴・難聴者協会 香川県手話通訳問題研究会 特定非営利活動法人香川県要約筆記サークルゆうあい 障がい福祉課 高松市自主防災組織連絡協議会 高松市消防団機能別分団
8		特設公衆電話の開設	ポータブル衛星装置を使用して、避難所へ特設公衆電話回線を設営する。	西日本電信電話株式会社香川支店
9		設備復旧訓練	無線基地局の被災を想定し、移動基地局車による応急復旧措置を行う。	株式会社NTTドコモ 四国支社グループ
10	9:25~9:55	移動式ガス発生設備設置及び運転訓練	都市ガスの供給を遮断した地区の公共性の高い病院や避難所等へ供給を再開するため、移動式ガス発生設備を緊急搬送し設置及び運転を行う。	四国ガス株式会社高松支店
11		応急給水所設営訓練	応急給水所で使用する飲料水用給水タンク及び応急給水栓を設営する。	香川県広域水道企業団高松ブロック統括センター
12		配電線復旧訓練 (低圧移動用発電機車による緊急送電)	配電線断線により送電不能となっているため、復旧工事を行い、低圧移動用発電機車にて送電する。	四国電力送配電株式会社高松支社
13	9:45~10:25	情報収集伝達活動訓練 倒壊家屋救出搬送訓練 座屈ビル救出搬送訓練	地震により、倒壊した家屋に閉じ込められた人を発見する。また、座屈したビルに逃げ遅れた要救助者をドローンにより発見し、救出活動を実施する。 救出後、ドクターヘリにより医療機関へ搬送する。	アジア航測株式会社四国支店 株式会社四航コンサルタント 高松市自主防災組織連絡協議会 陸上自衛隊第15即応機動連隊 香川県ドクターヘリ 香川大学医学部附属病院 高松市消防局
14	10:26~10:40	消火及び中継送水訓練	座屈ビルからの出火を梯子車及びポンプ車により消火する。	高松市消防団 高松市消防局

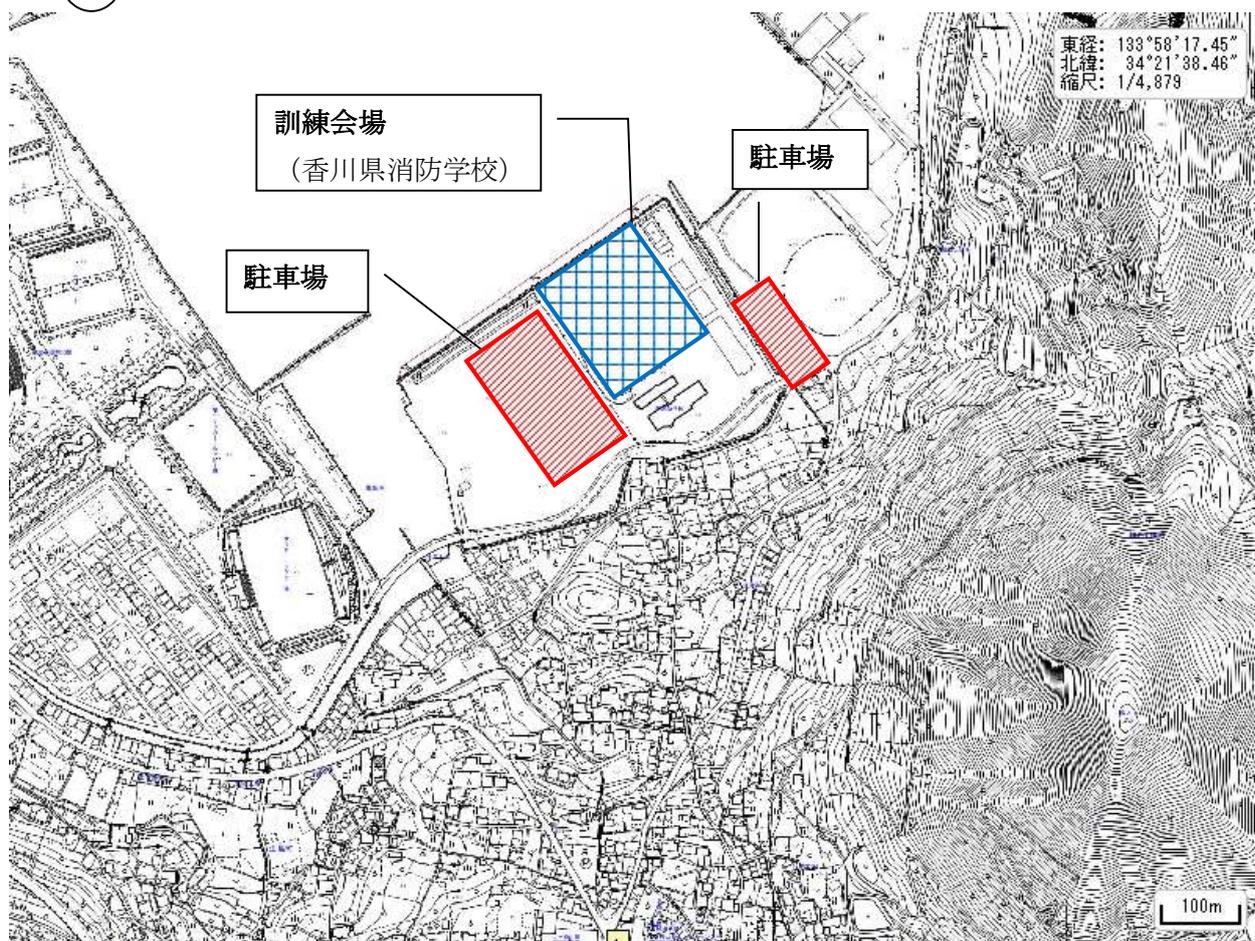
第Ⅱ部 風水害対策訓練

訓練 番号	時 間	訓 練		実 施 機 関
		種 目	状況及び実施内容	
15	10:55~10:56	本部放送	風水害対策訓練実施に至るまでの想定状況を放送する。	危機管理課
16	10:57~11:07	倒木撤去訓練	強風により倒れた木を撤去する。	高松市建設業協会 道路管理課
17	11:08~11:28	孤立者救出訓練	河川堤防の決壊により住宅が浸水し孤立、屋根の上から要救助者1名を救出する。	香川県防災航空隊 高松市消防局 河港課
18	11:35~11:55	終了式	挨拶	訓練参加者全員

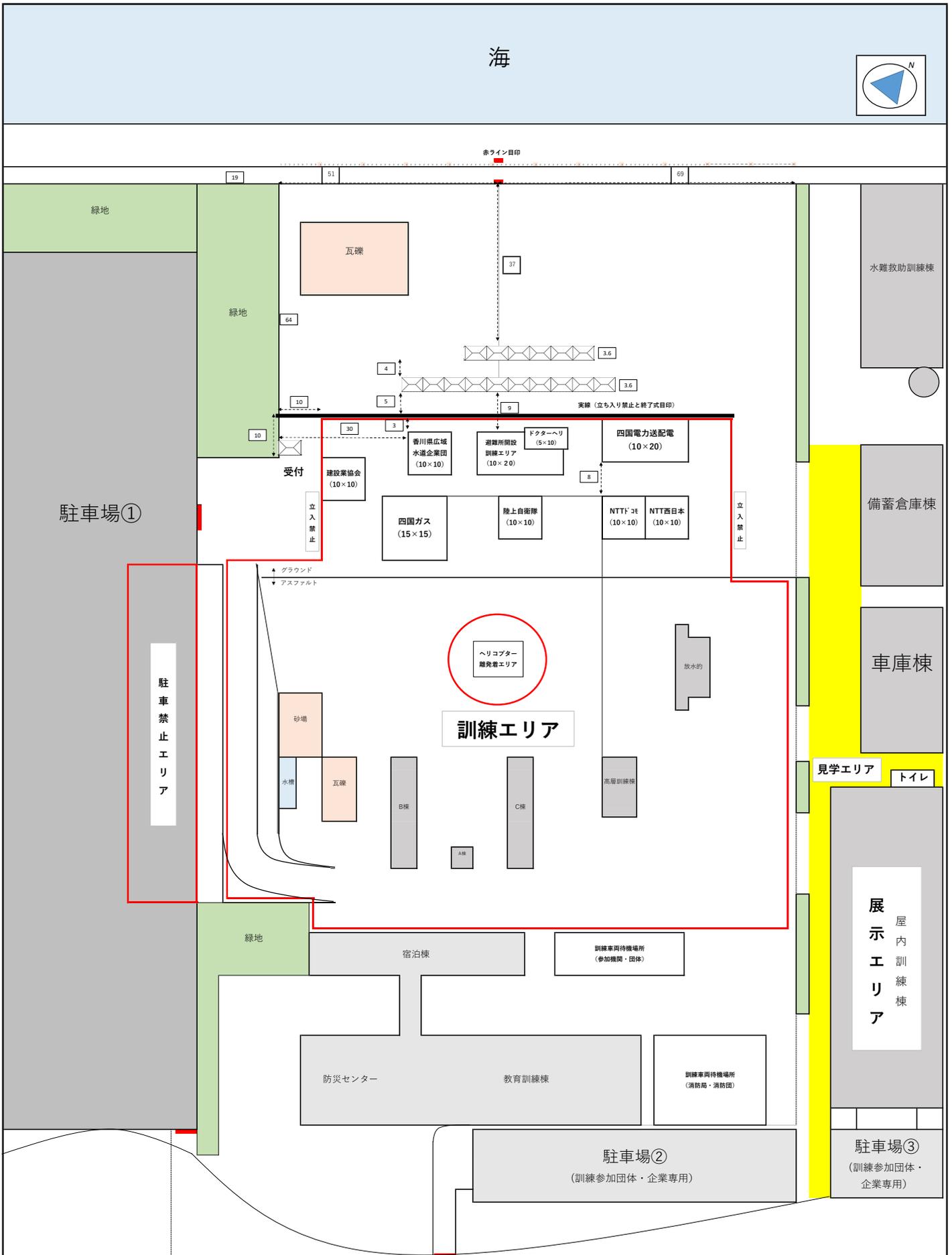
(体験・展示コーナー)

番号	時 間	実施内容	実 施 機 関
1	9:00~11:25	A E D体験及びリラクゼーション体験 活動パネルの展示	日本赤十字社香川県支部 高松市赤十字奉仕団 地域共生社会推進課
2		防災用品の展示	西村ジョイ株式会社
3		災害用伝言ダイヤル171の体験	西日本電信電話株式会社香川支店
4		防災用品の展示	DCM株式会社
5		衛星携帯電話機の展示（操作説明、Starlink、マルチチャージャーの紹介）	株式会社NTTドコモ 四国支社グループ
6		ペットの防災対策の展示・体験	生活衛生課 さぬき動物愛護センターしっぽの森
7		緊急地震速報資料及び観測機器の展示 液状化の実験	高松地方気象台
8		飲料水の展示、相談会	四電エンジニアリング株式会社 アクアクララ事業部
9		キッチンバスの展示	一般財団法人香川県キッチンカー協会
10		災害時支援キット及び炊き出しキットの展示	香川エルピーガスクリーン協同組合
11		啓発資料及びパネルの展示	公益社団法人香川県聴覚障害者協会 香川県中途失聴・難聴者協会 香川県手話通訳問題研究会 特定非営利活動法人香川県要約筆記サークルゆうあい 障がい福祉課
12		防災ジャパンダプロジェクト	損害保険ジャパン株式会社
13		非常持ち出し袋等の展示	高松市機能別分団
14		建築物の耐震化に関する情報提供	建築指導課
15		バルーンシェルターの展張	イオンリテール株式会社イオン高松店

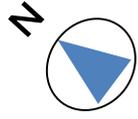
第3 訓練会場案内図



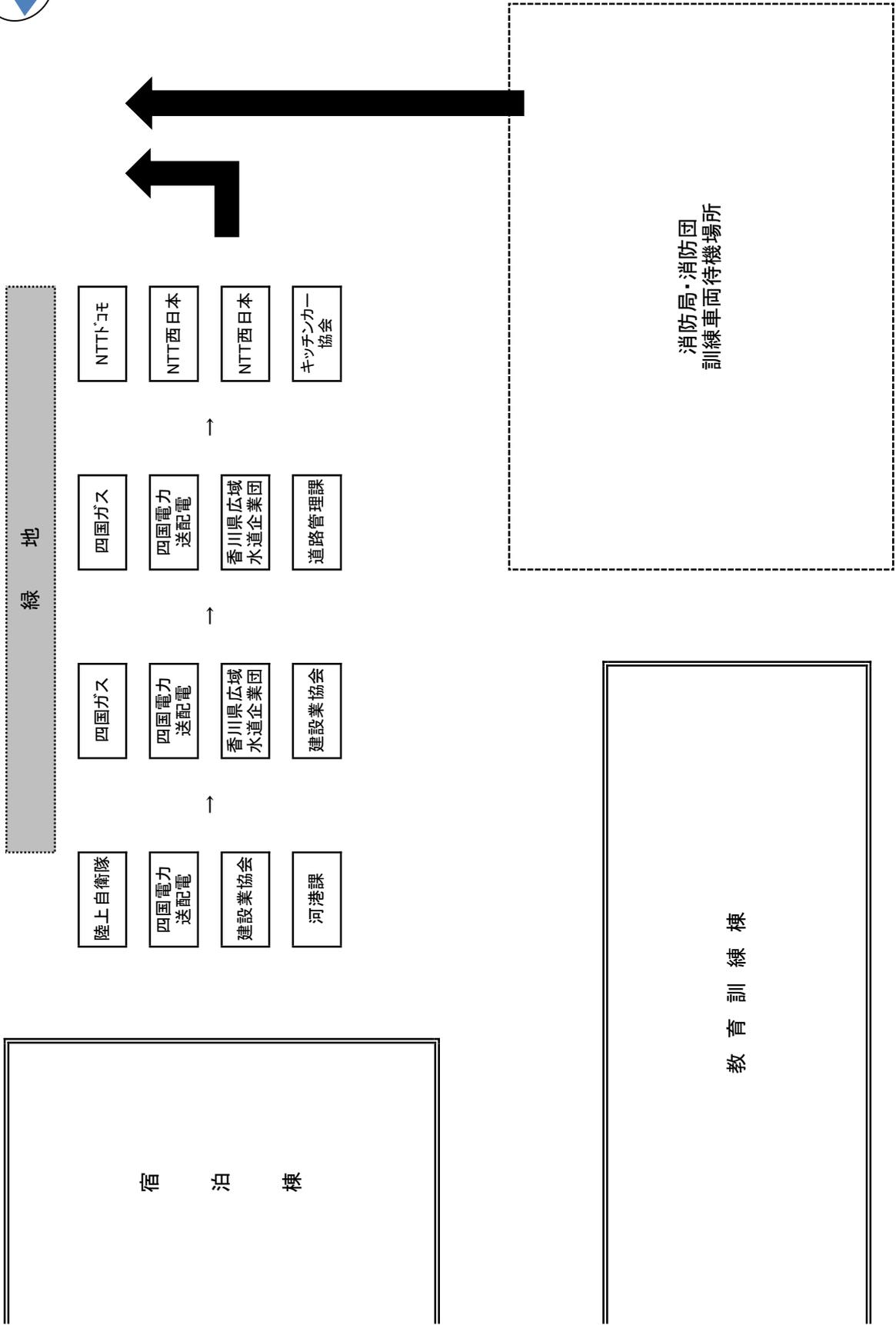
第4 実施位置図



第5 訓練車両待機場所図



訓練会場



第6 配席図

訓練会場



報道

来賓者

市
議
会
議
員

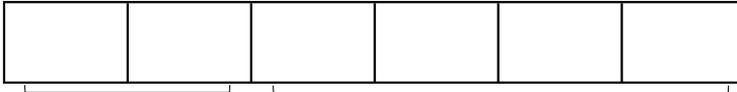
本
部

消
防

放
送
席

ア
ジ
ア
航
測

東



西

来
賓
者

参
加
者
控
席
・
見
学
席

北



(本発表のお問い合わせ先)
ゼロカーボンシティ推進課
広報資料取扱主任: 藤澤 直子
電話 087-839-2393

【市長定例記者会見】たかまつ給水スポット協力店を募集します！

本市では、ペットボトルなどの使い捨てプラスチック容器を削減するため、マイボトルの利用促進に向け、給水スポットの設置拡大に取り組んでいます。

その取組の一環として、マイボトルに無料で給水サービス(水やお湯など)を提供する「たかまつ給水スポット協力店」の募集を行います。

また、協力店には、フラッグバナーやステッカーを配布するほか、本市ホームページや「たかまつオアシスマップ」において、店舗情報を紹介します。

1 募集開始

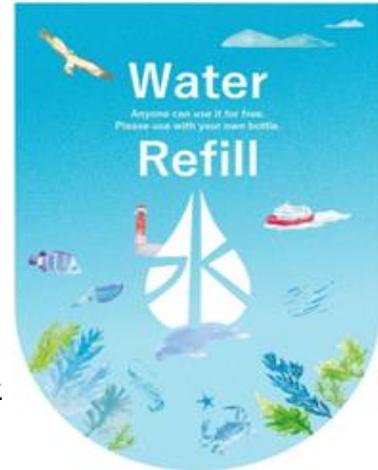
令和7年7月1日(火)から

たかまつ給水スポット協力店フラッグバナー

2 申請方法

専用フォームより申し込み

<https://logoform.jp/form/dV7M/1036672>



3 登録要件

給水を希望するすべてのマイボトル持参者へ給水サービス(水やお湯など)を無料で提供すること。

ただし、本事業の目的を踏まえ、ボトル交換型のウォーターサーバーについては対象外とする。

4 取組内容

- (1) 協力店は、営業時間内において、登録要件を満たすサービスの提供を行うこと。
- (2) 協力店は、たかまつ給水スポット協力店フラッグバナーやステッカーを入口付近に設置し、協力店であることをPRすること。
- (3) 給水サービス利用状況に関する調査やマイボトル利用促進に係る啓発活動に協力すること。

5 たかまつオアシスマップ

マイボトルに飲料を無料で提供していただける「たかまつ給水スポット協力店」をスマートフォンなどで、簡単に検索できる特設サイトです。協力店の場所や店舗情報が掲載されています。

詳しくは下記を御参照ください。

○令和7年7月1日運用開始

(たかまつオアシスマップ)

https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1wvc-zi5Uo6ud5tof-usLKIsuJ_lwjvw&usp=sharing

■リンク: https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kurashi/kankyoo/oshirase/k_ondan_up20250514.html

■添付資料: たかまつ給水スポット協力店登録実施要領

たかまつ給水スポット協力店登録実施要領

(目的)

第1条 この要領は、マイボトル（水筒、タンブラー、蓋付きマグカップその他の繰り返し飲料を充填できる容器をいう。ただし、ペットボトルは除く。）を持参し、給水を希望する人に、無料で給水サービス（水やお湯など）を提供する市内の店舗や事業所を「たかまつ給水スポット協力店」（以下、「協力店」という。）として登録するための必要な事項を定め、協力店の拡大により、市民のマイボトルの利用を促進し、循環型社会の意識の醸成を図ることを目的とする。

(申請対象者)

第2条 申請対象者（以下「申請者」という。）は、次の各号の要件を全て満たすものとする。

- 1 高松市内に店舗や事業所を有する事業者で、管理・運営等について責任を有する者（飲食店等許可を必要とする店舗においてはその許可を受けた者を行い、許可を必要としない店舗においてはその店舗を所有する者または経営する者をいう。）であること。
- 2 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団若しくは同条第6号に規定する暴力団員又はこれらの者と密接な関係を有する者でないこと。

(登録要件)

第3条 高松市内の店舗や事業所において、給水を希望するマイボトル持参者へ、水やお湯などを無料で提供すること。ただし、本事業の目的を踏まえ、ボトル交換型のウォーターサーバーについては、対象外とする。

(取組内容)

第4条 協力店は、次の項目に取り組むものとする。

- 1 協力店は、営業時間内において、登録要件を満たすサービスの提供を行うこと。
- 2 協力店は、市から交付されたフラッグバナー等を施設入口付近に掲出し、協力店であることをPRするとともに、市民へマイボトルの携行を促すこと。
- 3 給水サービス利用状況に関する調査やマイボトル利用促進に係る啓発活動に協力すること。

(申請方法)

第5条 協力店として登録を希望する場合は、店舗等の管理・運営等について責任を有する者が、登録申請フォームより申し込む。

- 2 市は、申請内容を確認し、要件を満たすと認める場合は、協力店として登録し、協力店であることを示すフラッグバナーのほか、必要に応じて啓発資料などを交付する。

(店舗の紹介)

第6条 市は、登録した協力店の情報を高松市公式ホームページ「もっと高松」や「たかまつオアシスマップ」などで紹介する。

- 2 協力店は、登録申請をした時点で、店舗情報の掲載に同意したものとする。

(登録内容の変更)

第7条 協力店は、登録した内容に変更が生じた場合は、速やかに登録変更フォームにより、市へ届け出るものとする。

- 2 市は、登録変更の内容を確認し、高松市公式ホームページ「もっと高松」

や「たかまつオアシスマップ」の掲載情報を変更する。

(登録の中止)

第8条 協力店は、第2条及び第3条の要件を満たさなくなった場合又は店舗等の事由により、協力店の登録を中止する場合は、登録中止フォームにより、市へ届け出るとともに、フラッグバナーなど、協力店であることを示す掲示物の掲出を取り止めなければならない。

2 市は、登録中止の内容を確認し、高松市公式ホームページ「もっと高松」や「たかまつオアシスマップ」の掲載情報を削除する。

(登録の抹消)

第9条 市は、協力店が第2条及び第3条の要件を満たしていない場合又協力店制度の信用を失墜する行為を行うなど、協力店として適当でないと判断した場合は、登録を抹消することができる。

2 市は、協力店の抹消事由を明確にし、協力店に通知するとともに、高松市公式ホームページ「もっと高松」及び「たかまつオアシスマップ」の掲載情報を削除する。

3 登録を抹消された協力店は、速やかにフラッグバナーなど、協力店であることを示す掲示物の掲出を取り止めなければならない。

(その他)

第10条 この要領に定めるもののほか、必要事項が生じた場合は、その都度、市と協力店が協議の上、定めるものとする。

附 則

この要領は、令和7年7月1日から施行する。